

平成30年度 県土整備委員会 県外視察の概要

1 参加委員

須見 一仁 (委員長), 丸若 祐二 (副委員長), 岸本 泰治, 川端 正義,
岩丸 正史, 眞貝 浩司, 庄野 昌彦, 長尾 哲見

2 視察日程及び視察箇所

視察日程	視 察 箇 所
7月25日(水)	高松空港株式会社 (香川県高松市)
7月26日(木)	コマツ I o T センタ北九州 (福岡県嘉麻市)
	九州北部豪雨緊急治水対策 (福岡県朝倉市)

3 調査目的及び視察概要

(1) 高松空港株式会社

(調査目的)

徳島阿波おどり空港において、本年1月に新ターミナルが供用開始され、国際チャーター便の就航をはじめ、福岡線のジェット2便化など、国内外との交流機会が拡大しているところである。

そこで、本県の更なる航空ネットワークの拡充を図るため、本年4月に民営化された高松空港について、「アジア・世界とつながる、四国瀬戸内No.1の国際空港」を目指す計画やその具体的な取組方針等の調査を行う。

(視察概要)

高松空港株式会社における就航誘致の取組等について説明を受けた後、空港ターミナルビルを視察しました。



(2) コマツ I o T センタ北九州

(調査内容)

本県では、建設現場における若年入職者の減少や高齢化といった課題を踏まえ、建設現場の生産性向上や担い手確保に向けた取組の一つとして、ICT活用工事の更なる推進に取り組んでいる。

そこで、国土交通省が進めるi-Constructionについて、より理解を深めるため、実際にICT重機を用いたデモンストレーションを見学できる、コマツ I o T センタの調査を行う。

(視察概要)

I C T活用工事に関する説明を受けた後、デモンストレーションの視察及び重機の試乗を行いました。



(3) 九州北部緊急治水対策

(調査内容)

平成29年7月の九州北部豪雨において、短時間に記録的な雨量を観測し、堤防決壊等の被害に加え、大量の土砂や流木を伴う洪水により甚大な被害が発生した。この災害を契機に、「中小河川緊急治水対策プロジェクト」が取りまとめられ、本県も含めた全国の中小河川において、治水機能の強化が図られているところである。

そこで、再度災害の防止・軽減対策の知見を深めるため、筑後川右岸流域における被災状況や国土交通省が実施している「九州北部緊急治水対策プロジェクト」の調査を行う。

(視察概要)

九州北部緊急治水対策プロジェクトに関する説明を受けました。

